

雑誌『彷彿』原稿 400字 30枚

1.

題目

クリアーニ

魅せられ

これは「創造」概念の特色

— 創造の反覆と中心と化 —

構想

（創造の反覆を直接に示すのは يبعوا الخلق）

one stage 15個の表現であるが、これは
一括りで「意味」で「まとめて論ずる」。

ヨリヤー、最初の創造：次の創造，五つ目
P.107：五つ目：創造の one stage = “と”
“かば”アラーヴ汗 海が行なわなくてはヒ。
etc. 1: もう2章角向：その意味です、etc。

当然にもう下の創造がどの段階に反覆されたのか
かか問題となる。それは創造の最初のそれが
なされたのでは、即ち創造の最初のがなされた
た場所・時・度式などが同じ所でなされる（P.166
及び註97. 道元と豈然）。

アーヴィング、人間が…（アーヴィング）と関係する。

これは人間が最初に創造された地点である。

1. 最初の創造・人間の本來の姿・人間が作り出された

創
造
の
反
覆
は
人
間
は
ア
ラ
ム
の
立
て
る
所
を
か
か
れ
て
立
て
る
が

[創造の一瞬・最初の一瞬]

→ 人間の創造も反覆されるのは可いである。 $II = -7$
 ところべく人間は創造され、一瞬ごとにそれが
 くり返される。くり返されることは、どの時間の
 一瞬ごとでも、どこででもまだこれまで創造していない
 あるアラムと創造されつつある人間、つまり
 神 \Rightarrow 人間、人間 \Rightarrow 神 (電気の逆流 =
 電流) など dynamic の構造で見出されるなど。
 ところべく、 $II = -7$ といふ人間は創造されており
 創造の一瞬一瞬 反覆され得るためにには、
 人間が一瞬一瞬 がの根本の規定からはず
 れて “なければ” ならぬ。二者之中は直ぐに
 それに近い。方法は 149 一瞬 = “と” 現成
 であるとみよか故に、一瞬ごとに生・死を導入
 する $I = 92$ が 33。

上記の人間の創造の一瞬 = “と” 反覆とは
 人間が一瞬 = “と” ある $I = 92$ が 33 と “ある”。
 ある $I = 92$ が 33 はアラムの内層はアラムの外層から
 ある始源の肯定を受けて、人間の側からこれが
 人の即座の応答となり (受け下し瞬間、間髪

スルカク), ものアラーガトムする肯定と
アリのままで然りと認めて肯定するとはそ
がそれである。

虚無 ⇒ 本物とし生邊は人間の前
初の創造に並び得る創造である。

創造の反覆つまり繰り返しをばどさんとか:

- 最初の創造と反覆された繰り返された次の創造
との差異は何か。 (差異は全くない) → 首先のものは
新しくなる。
- 何故創造は反覆されるばならぬのか。
(上記にあた答乞)
- 398に創造が反覆されるとは云ふて、何がい
うて然に近ずるにゆきか。(近ずるに行かぬ)

では一体、初の創造と次第の創造も同一だとは
どう動の・植の或は人間の創造に於いて、
これらが成長・変化・進歩には何故か。